

令和5年度 米百俵プレイス ミライエ長岡 互尊文庫の取り組み

<目的・概要>

- 本の魅力を最大限発揮させる本棚づくりを通して、利用者が本を手に取りやすい場所、親しみやすいと感じてもらえる場所を目指す。

<取り組みごとの内容・評価・課題>

1 オープニングイベント

JC主催 ミライエ長岡見学会



▲司書の仕事を体験する子どもたち

オープニングイベント ブックツアー



▲ブックディレクター幅允孝氏によるブックツアー

<実績>

- 7月2日に市内の小学4～6年生の親子がJC（一般社団法人長岡青年会議所）が主催するイベントで、オープン前の「米百俵プレイス ミライエ長岡」の見学と司書の仕事体験を行った。本の配架や、テーマの言葉を考える司書の仕事を通じて、図書館の仕事の楽しさと難しさを感じてもらった。
- 7月22日のオープンの日には「これからの時代の新しい図書館を一緒に見てまわろう」と題して、ブックディレクター幅允孝（はばよしとか）氏によるブックツアーを開催した。40名の参加者と館内をめぐりながら、テーマ別配架やおすすめの図書の説明を行った。参加者は大きくうなずきながら、話を聞いていた。

<課題・今後の方針>

- オープニングイベントは、ミライエ全体のイベントとして盛況であった。互尊文庫のテーマ棚に興味を示す方が多いため、今後も引き続きテーマ棚についてInstagramなどのSNSを活用して互尊文庫の紹介を続けたい。

2 イベントに合わせたテーマコーナーとInstagramを使った広報活動

テーマコーナー	Instagramの投稿
 ▲発酵のテーマコーナー	 ▲令和5年12月23日の黑板アートの投稿

<実績>

○館内のイベントに合わせたテーマコーナーを設置

・発酵トークのテーマコーナー

小倉ヒラクさんが登壇する「発酵トーク」というイベントに合わせて発酵のコーナーを設置した。児童書・専門書、マンガ「もやしもん」まで幅広い資料を展示した。

・SFプロトタイピングのテーマコーナー

長岡造形大学大学院との協力でSFプロトタイピングのテーマコーナーを設置。「未来をリハーサルする」と題して、ビジネスや産業の活性化にSF小説の技法を活用する「SFプロトタイピング」にクローズアップした。SF小説やマンガ作品の展示を通して、これからの未来が広がるような作品を紹介した。

○Instagramを使った広報活動

互尊文庫のSNSとして公式Instagramを運用。オープン15日前からカウントダウンを行い、オープン後は互尊文庫の使い方やテーマ書架の紹介を投稿し続けている。広報のツールとして写真や動画を使って若年層へ向けてアピールし、認知度の向上を図った。

また、定期的な投稿をすることで、フォロワーを定着させ、ファンを増やしている。

<課題・今後の方針>

- ・互尊文庫はすべてがテーマ棚であるが、イベントに関連したテーマコーナーをつくると、足を止めて見ていただく利用者が多い。今後も引き続きテーマコーナーを展開したい。
- ・若年層へ向けた情報提供として、引き続きInstagramを投稿し、積極的な広報に努めたい。